



柔道スポーツ少年団



小須戸野球スポーツ少年団

昭和62年度 小須戸町スポーツ少年団入団状況

団体名	性別	男子	女子	小計
小須戸剣道スポーツ少年団		70	30	100
矢代田剣道スポーツ少年団		42	16	58
小須戸町柔道スポーツ少年団		21	2	23
小須戸サッカースポーツ少年団		73	0	73
小須戸町野外活動太陽の子スポーツ少年団		30	43	73
矢代田野球スポーツ少年団		17	0	17
小須戸野球スポーツ少年団		23	0	23
こすどバレーボールスポーツ少年団		7	14	21
合 計		283	105	388

小須戸町のスポーツ少年団

～その活動と育成～

小須戸公民館報

町館 日
戸常 信
須公 田
小中 成
成月 15
行日 日
発毎 月
刷所 毎
印所 刷

スポーツ少年団は「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを」、「スポーツを通して、青少年のからだの成長を育てる組織を地域社会の中に」と願い、財団法人日本体育協会が、昭和三十七年に創設したものです。その後、日本体育協会が母体となり、それぞれの、県の体育協会内に県本部を設置するなどして、スポーツ少年団育成が活発に展開されるようになりました。

ここからでも発育期にある少年達にとって、スポーツをすることは非常に大切なことです。将来に向かってこれからの伸びやかな環境にあっても、自分を見失わず、力強く生きていく力が必要であり、私達は、それを養う機会を与えなければなりません。

本町においては昭和四十四年に「柔剣道振興会」を母体として柔剣道スポーツ少年団が発足しました。その後、サッカー、野外活動太陽の子少年団、野球（矢代田・小須戸）ジュニアバレーのスポーツ少年団が発足しています。現在においては、八団体に延べ二百八十八名の子ども達が加盟し、スポーツ少年団毎の活動を展開しています。これらのスポーツ少年団の活動を支えていくには、育成母



野外活動太陽の子少年団

剣道に入って

矢代田小六年 大久保直行
はくは、一年生から剣道に入りました。三年生になって、や

つと防具を付けた時、重くて大変でした。四年生で試合にでれるようになり、とてもうれしかった。そして六年生になって、合宿にも行き、新潟県のスポーツ少年団の大会で団体戦二位に

なれて、とてもうれしかった。剣道に入って良かったと思つたのは、姿勢がよくなり、ゲームでできるようになったということです。これからも、練習日は休まずに行つて、もっともっと強くなりたいと思います。そして中学生になつても、剣道を続けていきたいと思つています。

太陽の子スポーツ少年団
小須戸小五年 佐藤友子
太陽の子少年団に入つて、色々な事を習いました。キャンプ、月見会、元旦登山、スケートなどです。こわい話も聞きました。今年のキャンプは、小国森林公園に行つて、小国城の城あとを見たり、アスレチックをして遊びました。ウオータースライダーがとくに面白かった。来年もまた、小国森林公園に行きたいと思つています。

サッカー少年団に入つて
小須戸小六年 佐藤 功
はくは、サッカーがとても好きです。でも初めてのころはサッカーに行くのがとてもいやでした。やめようと思つたこともありました。でも今は、そんなこととは思いません。それは友だちが、たくさんできたからです。今は、その友だちといっしょに試合をやっています。

きです。でも初めてのころはサッカーに行くのがとてもいやでした。やめようと思つたこともありました。でも今は、そんなこととは思いません。それは友だちが、たくさんできたからです。今は、その友だちといっしょに試合をやっています。

はくは、一年生から剣道に入りました。三年生になって、やつと防具を付けた時、重くて大変でした。四年生で試合にでれるようになり、とてもうれしかった。そして六年生になって、合宿にも行き、新潟県のスポーツ少年団の大会で団体戦二位に

なれて、とてもうれしかった。剣道に入って良かったと思つたのは、姿勢がよくなり、ゲームでできるようになったということです。これからも、練習日は休まずに行つて、もっともっと強くなりたいと思います。そして中学生になつても、剣道を続けていきたいと思つています。

太陽の子スポーツ少年団
小須戸小五年 佐藤友子
太陽の子少年団に入つて、色々な事を習いました。キャンプ、月見会、元旦登山、スケートなどです。こわい話も聞きました。今年のキャンプは、小国森林公園に行つて、小国城の城あとを見たり、アスレチックをして遊びました。ウオータースライダーがとくに面白かった。来年もまた、小国森林公園に行きたいと思つています。

サッカー少年団に入つて
小須戸小六年 佐藤 功
はくは、サッカーがとても好きです。でも初めてのころはサッカーに行くのがとてもいやでした。やめようと思つたこともありました。でも今は、そんなこととは思いません。それは友だちが、たくさんできたからです。今は、その友だちといっしょに試合をやっています。

はくは、一年生から剣道に入りました。三年生になって、やつと防具を付けた時、重くて大変でした。四年生で試合にでれるようになり、とてもうれしかった。そして六年生になって、合宿にも行き、新潟県のスポーツ少年団の大会で団体戦二位に

なれて、とてもうれしかった。剣道に入って良かったと思つたのは、姿勢がよくなり、ゲームでできるようになったということです。これからも、練習日は休まずに行つて、もっともっと強くなりたいと思います。そして中学生になつても、剣道を続けていきたいと思つています。

小須戸柔道会

全国青年大会に出場

柔道競技新潟県選手団

監督 阿部松雄（諏訪町二）
コーチ 鈴木宏栄（新町二）
選手 木伏正行（矢代田六）
清水正信（新栄町三）
古田 晃（竜玄）
松沢 学（歳町二）
五十田 規（小向）
川瀬勝司（本町五）
河内 亮（諏訪町二）

役場よりお知らせ

去る八月二十二日・二十三日に岩船郡山北町に於て、新潟県青年大会が開催され、中浦代表の小須戸柔道会が見事に優勝を飾りました。そして来たる十一月六日から九日まで、東京の講道館に於て開催される全国青年大会に出場する事になりました。新潟県代表として頑張つて下さい。

補聴器と聴力の巡回相談会

日時 十一月四日（水）
午前十時から午後二時まで
会場 小須戸町役場一階集団検査室
相談内容 ○補聴器の修理、点検、整備 ○補聴器の正しい使い方、取り扱い方 ○聞こえの検査（聴力検査）
※点検、整備は無料。部品交換の場合は実費負担。身障手帳をお持ちの方は交付申請、修理申請が必要になる場合がありますので手帳、印鑑を持参願います。
小須戸町役場福祉係

ふんせんと散歩 (6)

人の笑いは自分の喜び
水田 高井 正松さん
「小さな箱から大きな町ことうけるんだね。」
出さすけね。箱を立てたら函館箱を寝せたら、ほいね、箱根が出たわい。思わず大声出して笑ってしまった。笑った後、なる程と感心した。六十年以上人々を笑わせ、笑わせる事で自分の喜びを感じてこられた高井正松さん（水田 八十八才）の小話である。戦中戦後の小須戸町で素人の集まりによる商売抜き寄席を開いては笑いをふりまいてた事もあったとか。「なんでもねえ話なんらも、公の場で人が話した事がねえすけどね。」

健康そのもので、畑仕事もこなすそう。
「じつとしてるとクメらね。動きまわらねと。」
小話は、人との交際のきっかけにもなるかと。機会があれば、皆さんに笑って喜んでもらえる話をしたいと語られた高井さん。人の喜びを自分のことのように喜ばれる人は幸せだ。



